

-オミックス解析とセルベース解析、ダブルで解明！- 「次世代」は今！「知恵」しか持たざる者のオミックス解析

小原 收 先生
(かずさDNA 研究所 ゲノム事業推進部長)

発表日：11月29日(木) 11:40 ~ 12:30

会場：第16会場(パシフィコ横浜 会議センター502)

プログラムNo. : 2BT16

- NGSをされている方
- 網羅的解析に興味のある方
- 研究の今後の展開に
悩まれている方

**研究のボトルネック解消
のヒントがここにあります！**

講演内容

「次世代」と呼ばれたシーケンサーによる網羅的な解析技術によりゲノム解析が一つの到達点を迎えたことで、ゲノム情報から解明できる生体システムの仕組みが次々と明らかになる一方で、それだけでは分からない事柄がたくさん残されていることが急速に明らかになってきています。21世紀初めからポストゲノム研究の先駆けとして活発化したトランスクリプトミクスやプロテオミクス、さらに近年になって生物学との距離が著しく近くなったメタボロミクスなど、ゲノム情報を補完して生体システムの「状態」を記載する「オミックス」解析の重要性が大きくなっています。しかし、近年のオミックス解析の解析プラットフォームの初期投資の大きさは、若手のみならず、中堅の研究者がオミックス解析によって新しい知見を得るための大きな障害となっています。では、生体システムの謎の解明に挑みたい「知恵」しかない研究者はどうしたらいいのでしょうか？この講演では、かずさDNA研究所が展開しようとしている新しいオミックス解析への取り組み方をご紹介します。皆さんが「次世代」を「今」に取り戻す方法を議論させていただきたいと思います。また、仮説の「創出」と「検証」は自然科学では必須の両輪であり、オミックス解析から得られた仮説を検証しなくては研究は進みません。特に、生体システムの「状態」をスナップショットにしたオミックス解析データから、動的に変動していく生体システムの状態変化で仮説検証するためには、生命体として最も小さな単位である細胞をベースとしたアッセイの意義は以前にも増して大きくなっています。こうした細胞ベースのアッセイ系の最近の進歩についてもご紹介し、オミックス解析をより効果的に活用していただくための情報を共有させていただければと考えています。

お申込み方法：

下記ウェブフォームからお申込みください。

http://promega.formstack.com/forms/bunsei2018_seminar

